

# 令和5年度 看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価

## 1 教育理念・教育目的

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している。	2.8 (3)	<p>本校の理念は「人間愛」を根底に豊かな人間性を育み、「独立自尊」の精神で主体的な学習を目指し、自身の健康と人間の尊厳を考え守ることができるということと合わせて常に自己研鑽できるよう教育目標・理念を提示している。</p> <p>教育理念・教育目的は、保健師助産師看護師法・教育基本法・学校教育法・専修学校設置基準・保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づいている。</p> <p>教育理念・教育目的・教育内容は、学生便覧に示されているが、学生にとって学習の指針になっているかは不明、学生が十分に理解できるような働きかけが不足しているという意見もある。また目標達成への指導としては力不足との意見もある。</p> <p>教師の教育活動の指針については、個人的には意識している、学生ひとりひとりの背景を尊重しながら指導に努めたとの意見があるが、指針となっているかはデータを取ったことがないので不明である。</p> <p>卒業時点に持つべき資質としては、社会に対する看護の質は卒業時の特性で述べており、社会情勢の変化により地域との連携など不足している部分もある。</p> <p>*評価としては平均2.7で前年度と同評価</p>
教育理念・教育目的は、法との整合性がある。	3 (3)	
教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。	2.5 (2.9)	
教育理念・教育目的は、実際に学生の学習の指針になっている。	2.3 (2.4)	
教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている。	2.8 (2.9)	
教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるのかを述べている。	2.6 (2.7)	
教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている。	2.6 (2.6)	
教育理念・教育目的は、看護、看護学教育、学生観について明示している。	2.7 (2.8)	
看護、看護学教育、学生観は、実際に教師の教育活動の指針となっている。	2.5 (2.6)	
教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示している。	3 (3)	
卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている。	2.8 (2.8)	

## 2 教育目標

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある。	2.7 (2.7)	<p>教育目標は成文化されており、教育理念・教育目的と一貫性のある内容であるが、実際の教育指導の中で十分に意識されていないという意見もある。また、学年別到達目標から各学年行動目標を立て指導を行っている。</p> <p>学習者の成長を促すという点では、学習者としての学生の捉え方の記述がないため、目標設定は弱いという意見もある。また、卒業後の継続教育が意識づけられる目標とは言えない。</p> <p>*評価としては平均2.7で前年度より微減</p>
教育目標は、設定した教育内容を網羅している。	2.8 (2.8)	
教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとなっている。	2.8 (2.9)	
教育の目標は、目標内容と到達レベルが対応している。	2.8 (3)	
教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている。	2.7 (2.9)	
看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している。	2.7 (2.9)	
卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している。	2.4 (2.7)	

### 3 教育課程経営

#### (1) 教育課程経営者の活動

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している。	1.8 (2.1)	教育課程編成委員会等はなく、教職員全体が理解しているとは言えない。教職員の教育課程および評価に対する認識や理解には大きく差がある。学校全体で一貫した行動がとれていない、個人差があるという意見が多かった。 *評価としては平均1.9で前年度と同評価
教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている。	2 (2)	

#### (2) 教育課程編成の考え方とその具体的な構成

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	2.4 (2.7)	教育目標をもとに教育計画が立案されており、各分野の考え方を明示してある。また、教育目標から各学年に応じた到達目標を踏まえて編成されている。 *評価としては平均2.3で前年度より減
学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	2.3 (2.7)	
学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	2.3 (2.6)	

#### (3) 科目、単位構成

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
明確な考え方と根拠をもって科目を構成している。	2.5 (2.5)	それぞれの科目について設定理由・科目目標を明示しており、単元が構成されているが、教員全体の共通認識にまでは至っていないという意見があった。関連する科目、関連性のある単元において、教員間の連携が不足しているという意見があった。教員会議等で、連携強化を図る必要がある。 本校の特徴としては、東洋医学の講義があるなど、東西両医学は学校の特色を表す科目である。 *評価としては平均2.6で前年度より微減
明確な考え方と根拠をもって単元を構成している。	2.4 (2.7)	
科目と単元の構成の考え方は、教育理念・目的、教育目標と整合性がある。	2.3 (2.4)	
構成した科目は、看護師等を養成するのに妥当である。	2.8 (3)	
構成した科目は、養成所の特徴をあらわしている。	2.7 (2.9)	

#### (4) 教育計画

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
単位履修の方法とその制約について、教師・学生の双方がわかるように明示している。	2.5 (2.8)	単位履修の方法とその制約について学生便覧、学習評価規定に明示している。学生便覧、学習評価規定は入学時オリエンテーションを行っている。また、随時、学生へ指導を行っている。 単位修得は、教務会議を経て柔軟な対応をしている。単位履修制の考え方、科目の配列については、実習や外部講師との兼ね合いもあり、履修の順序性に課題がある。 *評価としては平均2.5で前年度より微減
単位履修の方法は、学生の単位履修を支援するものとなっている。	2.7 (2.9)	
単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしている。	2.2 (2.6)	

## (5) 教育課程評価の体系

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
単位認定の基準は、看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。	3 (3)	<p>単位認定の基準は、指導ガイドラインを遵守し、評価規定を基準として認定しており、単位修得試験、レポート提出、演習、グループワーク、授業態度等総合的に評価している。単位認定については、学則及び評価規定に文章化されており妥当である。</p> <p>単位互換については、入学時に申請し、単位を認定しているが体制としては十分とは言えない。内容が違うため実際は互換が難しい状況である。</p> <p>倫理規定は明確になっていないという意見が多い。 *評価としては平均2.4で前年度と同評価</p>
単位認定の方法は、看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。	2.7 (2.9)	
他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。	2.5 (2.4)	
教育課程を評価する体系を整えている。	1.8 (2.1)	
評価結果の活用における倫理規定を明確にしている。	1.7 (1.9)	

## (6) 教員の教育・研究活動の充実

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している。	2.3 (1.9)	<p>臨床経験の浅い教員もおり教員の担当科目と時間数は専門性が発揮できる配分とはいえない。更に次年度は教員数が減員ということもあり、専門性が問われる科目のため学内の教員に配分するのは難しい状況である。</p> <p>学年担当業務に追われ、授業準備の時間は取れる状況にはない。教材研究にも時間がかけられないという意見もある。</p> <p>学校閉校に向け、教員の研修計画などなくなった。また研究授業を行う体制が整わなくなった。 *評価としては平均1.6で前年度と同評価</p>
教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている。	1.2 (1.1)	
教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている。	1.4 (1.7)	
教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている。	1.4 (1.6)	

## (7) 学生の看護実践体験の保障

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的・教育目標を理解している。	2.2 (2.3)	<p>実習打合せの際、養成所の個別の教育理念・教育目的・教育目標について説明しているが、実習施設において理解力に差があるという意見もある。</p> <p>各実習施設は、指導者を配置して下さっている。また、各実習前後には、実習に打ち合わせを行い、週計画をもとに学生の看護実践の学習を支援する体制を整え協働して指導して頂いている。教育的なかかわりの面では、実習指導者以外のスタッフへの浸透や継続には課題が残る。</p> <p>臨地実習指導者、教員の役割については、臨床は患者への責任が負える協力体制での指導を打ち合わせでお願いしているが、明確にした文章化されたものがなく、検討に至っていない。教員の能力についても個々で差があり、学生の力を伸ばすための関りが課題である。学生指導をする教員の倫理的な取り扱いを考える機会を設け、対象の権利が守られる体制づくりが必要である。</p> <p>学生の臨地実習での事故は、レポートを提出し自己の振り返り、今後の課題を明確にするなど実態を把握し、原因の追究を行い、今後の対策について考察しているが、分析するまでに至っていない。 *評価としては平均2.3で前年度より微減</p>
臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。	2.1 (2.4)	
臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている。	2.2 (2.5)	
臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている。	2.3 (2.4)	
臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。	2.2 (2.4)	
学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。	2.5 (2.9)	
対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている。	2.3 (2.6)	
臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している。	2.4 (2.6)	
学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。	2.5 (2.6)	

#### 4 教授・学習・評価過程

##### (1) 教授内容と教育過程との一貫性、看護学としての妥当性、授業内容間の関連と発展

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている。	2.8 (2.9)	<p>授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されており、授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を考えシラバスを作成し、明示している。</p> <p>授業内容間の重複については、各概論・各地域保健の内容に重複があり明確でないという意見がある。重複内容の確認を行い、検討する必要がある。</p> <p>* 評価としては平均2.5で前年度と同評価</p>
授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている。	2.5 (2.6)	
授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている。	2.6 (2.7)	
授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある。	2.5 (2.5)	
授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている。	2.1 (2.2)	

##### (2) 授業の展開過程

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
授業形態（講義、演習、実験、実習）は、授業内容に応じて選択している。	2.7 (2.9)	<p>授業計画は立案されている。授業形態については、学生の理解を促すため、学生参加型の授業になるように工夫を行っている教員も多い。</p> <p>授業展開については、初講時に説明を行っているが、学生の学習が深化、発展するための方法と意図的選択した学習の支援が不足している。</p> <p>教員間の協力体制はあるが、明確とは言えず、計画的ではない。</p> <p>* 評価としては平均2.1で前年度より微減</p>
授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している。	2.2 (2.6)	
授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している。	1.8 (2)	
学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている。	1.8 (2)	

##### (3) 目標達成の評価とフィードバック

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
評価計画を立案し、実施している。	2.3 (2.6)	<p>それぞれの科目で評価計画を明示し、実施している。また、評価方法は、試験による評価とポートフォリオやレポート、ワーク課題による評価もあり、それぞれ評価基準を作成し、学生に事前に提示している。</p> <p>単位認定のための評価基準と方法は、シラバス及び学習評価規定で学生に明示している。</p> <p>実習に関する評価は、担当教員の主観的な評価となり、教員間で評点に差があると思っている教員もいる。教員がルーブリックを活用し、学生と教員の評価にずれが生じないように指導していく必要がある。</p> <p>* 評価としては平均2.1で前年度より減</p>
評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。	1.8 (2.2)	
学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている。	1.8 (2.1)	
教育目標の達成状況を多面的に把握している。	1.7 (2)	
学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。	2.6 (2.9)	
単位認定の評価には公平性が保たれている。	2.3 (2.8)	

## (4) 学習への動機づけと支援

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性がある。	2.4 (2.9)	一貫性のある指導ができています。初回講義でもシラバスを提示し、学習への動機づけに努めているが不十分な状況である。 *評価としては平均2.0で前年度より減
シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている。	1.6 (2.1)	

## 5 経営・管理過程

## (1) 設置者の意志・指針

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
養成所の管理者は、教育理念・教育目的についての考え方を明示している。	2.7 (3)	教育理念・教育目的についての考え方、教育課程経営についての考え方、教育評価については便覧及び教育課程に明示してある。 設置者の意思を示す文書は学生便覧に明示している。 教育評価については、学習評価規定に明示されており、会議の中でも説明がされている。 管理運営などについては、運営会議で討議されており、運営会議の内容については職員会議等で報告し、管理者の考え方を伝達している。しかし、管理者の考え方に納得していない部分もあり、全てを理解しているとは言えない、という意見も多い。 *評価としては平均2.3で前年度より減
養成所の管理者は、教育課程経営についての考え方を明示している。	2.6 (2.8)	
養成所の管理者は、教育評価についての考え方を明示している。	2.5 (2.9)	
養成所の管理者は、養成所の管理運営等についての考え方を明示している。	2.1 (2.5)	
明示した管理者の考えと、設置者の意志とは一貫性がある。	2.2 (2.6)	
教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している。	1.8 (2.1)	

## (2) 組織体制

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
養成所の組織体制は、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている。	2.1 (2.3)	業務分掌を作成し、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている。また、最終決定者は学校長と意思決定システムも明確で、決定された事項は職員会議、教務会議で周知できている。しかし、組織構成員の意志が必ず反映されていると思わないという意見もある。 職員任用については、教員の適正人数は満たしていない。 選考基準も、学校の教職員の資質の向上についてどのような考えなのか不明であるという意見もある。資質向上の対策が不十分であるという意見は多い。 *評価としては平均1.8で前年度より減
意志決定システムが明確になっている。	1.8 (2.2)	
意志決定システムは、組織構成員の意志を反映できるように整えられている。	1.8 (2.2)	
意志決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている。	1.7 (2.3)	
組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念・教育目的達成との整合性がある。	1.8 (2.2)	
教職員の資質の向上についての考え方と対策には、教育理念・教育目的達成との整合性がある。	1.7 (2.1)	

## (3) 財政基盤

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
財政基盤を確保することについての考え方が明確である。	1.1 (1.3)	財政基盤について明確に文章化された文書はなく、教職員への周知の場も整えられていない。教職員の意見は運営会議等で報告するが、全て反映されていない。 急な閉校はあり得ないという意見もあった。 昨年度も低い評価だったが、今年度は更に低い評価になった。 *評価としては平均1.1で前年度より減
財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持・向上につながっている。	1.3 (1.8)	
教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している。	1 (1.2)	
教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようになっている。	1.1 (1.3)	

## (4) 施設設備の整備

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している。	1.7 (2.1)	学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している文章はなく、整備計画の文章化も不足している。 施設整備は、ガイドライン及び授業計画に基づき整備している。 ハード面では、限られたスペースしかなく、改善は難しい。 地域環境との関連性や施設設備の整備の検討は不明の意見が多かった。福利厚生はほぼないという意見もあった。 急な閉校に対して学生の教育の現状を考えない教員削減など、現在いる学生を無事に卒業に導くような体制を継続する意識があるのか疑わしい状況も看過できないとの意見もあった。 *評価としては平均1.6で前年度より減
管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施している。	1.6 (2)	
看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している。	1.7 (2.3)	
医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している。	1.5 (2.2)	
養成所が設置されている地域環境との関連から、学生および教職員にとっての福利厚生の施設設備の整備を検討している。	1.3 (1.7)	
学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備している。	1.6 (1.9)	

## (5) 学生生活の支援

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている。	1.7 (2.2)	学生の学習支援対策として、奨学金制度、学校カウンセラーの配置、教育相談、保護者との連携を適宜実施している。しかし、十分でないという意見が半数の教員から今年度も上がっていた。 留年の学生の留年期間の奨学金体制が整えられずに、金銭面の負担が大きいとの意見もあった。 *評価としては平均1.7で前年度より減
学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている。	1.7 (2.2)	
支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている。	1.7 (2.2)	

## (6) 養成所に関する情報提供

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
教育・学習活動に関する情報提供を関係者（保護者等）に行っている。	2.5 (2.6)	教育・学習活動については、管理方針、学習状況など文書で提示している。学習状況についても適宜連絡を取り、協力・支援を頂いている。しかしながら、単位未修得者の保護者の訴えなど対応に苦慮したケースもあった。 *評価としては平均1.8で前年度より減
関係者（保護者等）への情報提供は、関係者から協力・支援を得ることにつながっている。	2.1 (2.6)	
看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。	1.4 (2.1)	
広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっている。	1.4 (2.3)	

## (7) 養成所の運営計画と将来構想

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
養成所は、明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画・短期計画・年間計画を立案している。	1.4 (1.9)	運営の年間計画は立案されているが、中・長期計画は明確になっていない。把握できていない、周知不十分の意見も変わらずあった。 閉校が急に決まり、計画性がある運営とは考えづらいとの意見もあった。 *評価としては平均1.4で前年度より減
その実施・評価は将来構想との整合性をもってしている。	1.4 (1.8)	

## (8) 自己点検・自己評価体制

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
自己点検・自己評価の意味と目的を理解している。	2.3 (2.3)	今年度も全教員、資料に沿って自己評価を行っている。毎年同じような結果となり、改善は見られないとの意見もあった。 昨年より、平均値が全体的に減少している。 *評価としては平均2で前年度と同評価
実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確にもっている。	2.1 (2)	
自己点検・自己評価体制を整え、運用している。	2.1 (2.2)	
自己点検・自己評価は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能している。	1.8 (1.9)	
自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるように機能している。	1.7 (1.9)	

6 入学

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている。	1.5 (1.9)	募集停止により評価ができない。入学者の学習状況が芳しくなく、受験者がほぼ全員入学の選抜方法を考えるべきだったことが明らかであるとの意見があった。また、教育効果の視点があるのか疑問である。最終的には学校長が決定しているとの意見もあった。 *評価としては平均1.3で前年度より減
入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証している。	1.1 (1.3)	

7 卒業・就業・進学

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている。	2.3 (2.7)	学生便覧に卒業時目標は明示してある。 卒業時、学年別アンケート、技術到達度のアンケートを実施し自己評価の分析を行っている。教育理念・教育目標との整合性が不足している。 卒業時の就業・進学状況については把握しているが、分析はできていない。そのため、教育理念・教育目標との整合性については検証できていない。 卒業生の評価、問題点については、病院等の学校訪問、電話等により適宜情報交換を行い状況は把握できている。しかし、課題改善のための体制づくりや計画はできていない。 *評価としては平均1.5で前年度より微減
卒業時の到達状況を分析している。	2 (2.3)	
卒業生の就業・進学状況を分析している。	1.7 (2.1)	
卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある。	1.5 (1.7)	
卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている。	1.1 (1.3)	
卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている。	1.1 (1.4)	
卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している。	1 (1)	
卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している。	1.1 (1)	



## 8 地域社会／国際交流

### (1) 地域社会

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している。	1.2 (1.3)	<p>地域のニーズは把握ほぼできていない。 感染症対策の為、数年間公開講座の開催やレオクラブ・自治会によるボランティア活動も行えていないため、貢献できていない。</p> <p>地域社会との連携はないが、一部科目の授業の中でニーズを把握する活動を行った。</p> <p>情報発信については、ホームページ等を活用する方法もあるが、発信しなくなった。</p> <p>実習で、近隣の施設を利用することができた。</p> <p>*評価としては平均1.4で前年度より微減</p>
看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っている。	1.2 (1.3)	
養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている。	1.5 (1.4)	
養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。	1.3 (1.4)	
養成所が設置されている地域の特徴を把握している。	1.5 (1.8)	
地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている。	1.8 (1.9)	

### (2) 国際交流

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
国際的視野を広げるための授業科目を設定している。	1.8 (2.3)	<p>国際的視野が広がるよう、文化人類学、国際看護、看護英語を科目立てしている。</p> <p>インターネット環境はあるが、自己学習に取り組む他の物理的環境はない。</p> <p>海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制についての問い合わせについては、入学資格などの検討を行い、関係省庁に確認する体制は整えている。</p> <p>*評価としては平均1.2で前年度より微減</p>
国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている。	1.1 (1.4)	
海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。	1 (1)	
留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている。	1.1 (1.1)	

## 9 研究

評価項目	3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない 数字を記入 ( ) 内数字は昨年度の平均	総括
教員の研究活動を保障（時間的、財政的、環境的）している。	1 (1.3)	<p>協力体制はあるが研究活動の保障がなく、研究の時間的余裕がないと感じている教員が多い。また、研究に取り組む文化的素地がないという意見もあった。</p> <p>*評価としては平均1.0で前年度より減</p>
教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている。	1.1 (1.6)	
研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある。	1.1 (1.5)	